

事業実施と生活交通確保維持改善計画(又は地域公共交通計画)との関連について

令和 5 年 1 月 16 日

協議会名:	土佐清水市地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>土佐清水市は、四国の最西端に位置し、首都圏から最も時間的距離の遠い市と言われている。人口は、ピーク時の昭和33年には33,000人(住基)を超えていたが、令和2年度の国勢調査における人口は12,388人にまで減少している。</p> <p>高齢化・人口減少が進むとともに運転免許証返納者が増加傾向にあるため、地域住民の移動手段の確保が課題となっている。このことから、交通空白地域の解消や、買い物、通院等のための公共交通を維持・確保することを目的として、デマンド交通を運行している。</p> <p>今後、ますます高齢化が進み、高齢者の運転免許証の返納も進むことが予測されており、市街地へさまざまな機能が集約される中、移動手段に困る住民が増え、これまで以上に公共交通の重要性が高まると考えられる。引き続き、移動手段としての公共交通を維持・確保していくために、デマンド運送や路線バス、有償運送などの公共交通網を改善しつつ整えていくことによって、地域住民がより快適に生活できるように努めていく。</p>